



目的：エリアごとの役割や方向性を考えよう！
【地区の性格を見える化する】 [2時間30分]

10:00

ステップ1：はじめに

- 20分 ・あいさつ
- ・まずは「からと」を上から眺めてみましょう。
- 9階のエレベーターホールに移動します。「からと」を上から眺めながら、これからのまちの姿を思い浮かべてください。見終わったら、5階の会場に戻ります。
- 10分 ・これまでのワークショップで出てきた意見や成果を振り返ります。
- ・本日のプログラムの流れを説明します。

10:30

ステップ2：旗揚げアンケートで「からと」の将来の3つの視点について考えよう

- 30分 ・「からと」のまちづくりについて、観光・商業・くらしの3つの視点から、いくつかの問いを投げかけます。
- ・それぞれの論点について、参加者のみなさんの考えや感じていることをお聞きします。【旗揚げアンケート方式】

[論点 1] 『観光』という視点から「からと」の将来のあり方についてお聞きします。

- ① 「からと」の賑わいには観光客の存在が大きいので、観光客に向けたまちづくりを積極的に進めることが大切だと思う。
- ② 観光客をひとまとめに考えず、海外、市外、市内など、訪れる人の違いに合わせた対策をすることが大切だと思う。
- ③ 観光客と地域住民がうまく共存できるよう、エリアを分ける工夫をするなど、バランスの取れたまちづくりが大切だと思う。
- ④ 観光客が増えすぎることによる暮らしへの影響も考え、観光客の受け入れは慎重に進めることが大切だと思う。
- ⑤ その他

[論点 2] 『商業』という視点から「からと」の将来のあり方についてお聞きします。

- ① 地域住民に愛される商店街の再興を目指し、日々の暮らしを支えるお店を充実させることが大切だと思う。
- ② 観光客向けのお店と地域住民向けのお店がバランスよく揃ったまちを目指すことが大切だと思う。
- ③ 昔ながらの商店街の良さを取り戻したり、「唐戸はれて横丁」のような新しいお店づくりをするなど、人を惹きつけるアイデアが大切だと思う。
- ④ 誰向けかを考えるよりも、例えば、行列のできるようなお店を呼び込むなど、多くの人が集まるような工夫が大切だと思う。
- ⑤ その他

[論点 3] 『くらし』という視点から「からと」の将来のあり方についてお聞きします。

- ① 高齢者の方々が、安全で安心して暮らせる住環境づくりを第一に考えることが大切だと思う。
- ② 「からと」に住む人を増やすため、特に若い世代や子育て世代が住みたくくなるような魅力づくりが大切だと思う。
- ③ 新しい建物を整備するよりも先に、地域に住む人同士のつながりを育むことが大切だと思う。
- ④ 歴史や風景の良さを活かした住環境を整え、結果としてそれが観光にもつながるようなまちづくりが大切だと思う。
- ⑤ その他

ステップ3：3つの視点から

『からとまちづくりの中心（おへそプロジェクト）』を考えよう

- 10分 ・第2回ワークショップで提案された3つのエリア案について、それぞれの特徴を全体で簡単に振り返ります。
- 45分 ・各グループごとに作業を行います。
はじめに各自でアイデアを考え、その後、シールや地図を使いながら、グループ内でアイデアを広げていきます。

<ステップ3のねらい>

- ▶ 第1回・第2回ワークショップで出てきた「とっておきの場所」「残念な場所」やエリア案を手がかりに、「観光」「商業」「暮らし」の3つの視点から、「からと」の新しいまちづくりについてのアイデアを広げていくことを目的とします。
- ▶ ここでは、どれか一つに決めたり、案をまとめたりすることはありません。思いついたことをできるだけ多く出し、見える形にしていくことを大切にします。
- ▶ 『おへそプロジェクト』は、「こんなことができたら面白そう」「人が集まりそう」と感じるまちの中心になり得る場所や、その広がりを表すための呼び名です。

【作業手順】

0. 第2回ワークショップのエリア案を確認する（グループ作業）

- ・「観光」「商業」「暮らし」の3つの視点から第2回ワークショップで提案されたエリア案を、第2回まちづくりニュースを見ながらグループで確認してください。

1. "場所"を選ぶ（個人作業）

- ・第1回ワークショップで整理した「とっておきの場所・残念な場所マップ」（資料①）を参考にし、「観光」「商業」「暮らし」に役立つと思う場所を、各自3つ程度選びます。
- ・選んだ場所の番号を選択シート（資料②）に記入してください。
- ※「新しく思いついた場所」がある場合は、マップ（資料①）にその位置を描き、**あ・い・う**などの記号を付けて、同じく選択シート（資料②）に記入して構いません。

2. 理由や使い方を書く（個人作業）

- ・選んだ場所について、「なぜ選んだのか」「どんな使い方が考えられるか」を、選択シート（資料②）の理由記述欄に記入してください。

3. シールで見える化する（グループ作業）

- ・各自が選んだ場所を確認しながら、大きな地図（資料③）に、「観光」「商業」「暮らし」で色分けしたシールを貼っていきます。

※同じ場所にシールが重なっても問題ありません。

【作業手順（続き）】

4. おへそを見つけて広げる（グループ作業）

- ・シールの集まり方を見ながら、「ここが中心になりそう」「このあたりに広がりがありそう」と感じる場所について、まちの「中心（おへそ）」になり得る位置に駒を置き、その周囲の広がりをマジックで描いてみてください。

※大きさや数は気にせず、思いつくものをいくつも作っても構いません。

5. アイデアを書き留める（グループ作業）

- ・描いた「中心（おへそ）」について、「なぜそう思ったか」「どんなことができそうか」などのアイデアを、付箋に書き、グループシート（資料④）に貼って完成させてください。

※おへその形や広がりは自由です。

※複数箇所の提案があっても問題ありません。

11:55

ステップ4：『おへそプロジェクト』を発表します

25分 ・グループごとに作った『おへそプロジェクト』シートを全体の場で発表します。

12:20

ステップ5：まとめ

- 10分 ・本日のまとめをします。
- ・「感想カード」を書いて下さい。
 - ・あいさつ

- 本日のワークショップの様子や今後のご案内は
<https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/75/140773.html>でもご覧いただけます。

